

危険業務従事者叙勲

福士さんが瑞宝双光章

第18回危険業務従事者叙勲で、織笠の福士寛さん(70)が瑞宝双光章を受章しました。

この叙勲は警察官や自衛官、消防吏員など危険性の高い仕事に取り組み社会に貢献した人の功労をたたえるものです。

福士さんは、昭和36年から41年間、刑事として主に暴力団関係を担当。「捜査は足でかせ

ぐ」を信念に奔走し、数々の事件を解決してきました。「皆さんののおかげで受章できました。住民の支えがなくては警察は成り立ちません。ありがとうございます」と喜びを話します。

責任感・正義感にあふれる福士さんは、震災時に自宅が浸水しながらも被災者の支援に懸命に当たりました。昨年10月には、傾聴ボランティアを立ち上げ、町民の心に寄り添う活動を続けています。「多くの人が心に不安を抱えています。その不安を少しでも取り除けるようにがんばります」と、心の復興にかけ



盛岡市内一周継走大会

山田中男子が2大会連続優勝 女子第5位入賞大健闘の走り

4月15日に開催された第66回盛岡市内一周継走大会で、山田中学校(佐々木毅校長・生徒448人)の男子チームが2大会連続優勝、女子が第5位とすばらしい成績を残しました。

同大会は盛岡市の県営運動公園で行われ、中学校男子の部に116チーム、女子の部には104チームが参加。山田中男子は、1走から5走までトップを譲らず2位に32秒差をつけて完勝。また、山田中女子は日ごろの練習の成果を発揮し、5位入賞と大健闘の走りでした。

男子の1走を務めた佐々木聖和君は「優勝を目標に練習してきたのでごくうれしい」と喜びを話しました。主将の山崎昂太君は「次は県駅伝大会の優勝が目標。気を抜かないで頑張ります。町民の皆さん、これからも応援よろしくお願いします」と次の目標を早くも見据えていました。

▷出場選手

男子…写真前列左から佐々木聖和(3年)、内舘奏太(3年)、沼崎友哉(3年)、梶山拓郎(2年)、佐々木廉(3年)

女子…写真前列左から伊藤優希(3年)、橋端保奈美(2年)、西川理子(2年)、平野真子(2年) 《敬称略》



すばらしい成績に笑顔山田中の男子駅伝部(上写真)と女子駅伝部

町長室から

団員の中に著名人が多いことや海外公演も含めて、日本で最も活発に活動を続けていることで知られる六本木男声合唱団倶楽部の演奏会が、4月15日に中央公民館で開催されました。このきっかけは、本町出身の波岡寛さんが団員だったことから団長の三枝成彰さんが団員に呼びかけ多くの賛同を得て実現したものです。これに盛岡の2団体も友情出演し、100名にも及ぶ大合唱が会場を揺るがしました▼三枝さんの来町の目的はもう一つありました。震災遺児・孤児を支援する文化・スポーツ支援機構を立ち上げたことから、この趣旨を広く周知し一人でも多くの子供たちの夢をかなえさせる手助けをしたいというものです。例えば、医師をめざしたければ、受験のための家庭教師の派遣、大学の授業料など諸経費の支援などもあります。詳しくは本紙の10ページをご覧ください。

山田町長 沼崎 喜一